CODE GEASS
Lelouch of the Rebellion

illustrations
Rebels

Art Works

On August 10, 2010 a.t.b., the Holy Empire of Britannia declared war on Japan. Powerless and hopeless. Japan was defeated in less than a month. Freedom and tradition were lost. Rights and pride were lost. And even their name was lost. The Japanese were given a new name —— the Eleven.

a

b

「月刊ニュータイプ」(06年7月号)雑誌時はbのイラスト。ルルーシュとスザクの髪色や制服デザインなどが異なる。目にハイライトがひとつしか入っていないのも特徴。

b

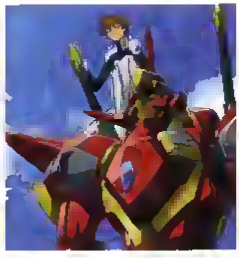
「月刊ニュータイプ」('06年8月号）掲載時はbのイラスト。ノーリーの髪 目の色なども大きく変更されている。

a

b

c

d

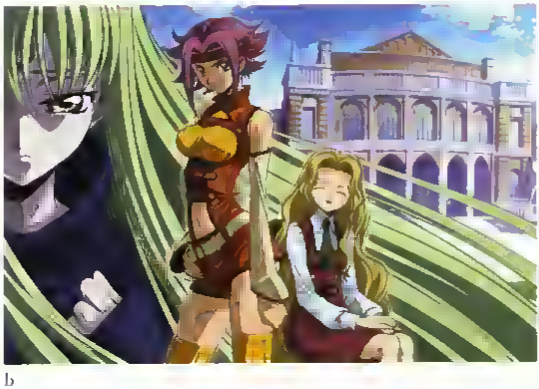


e

「月刊ニュータイプ」('06年8月号)掲載時はbのイラスト。スザク ランスロットともにデザインに変更はないが、放映時のカラーデザインはかなりシンプルなものとなった。

a

b



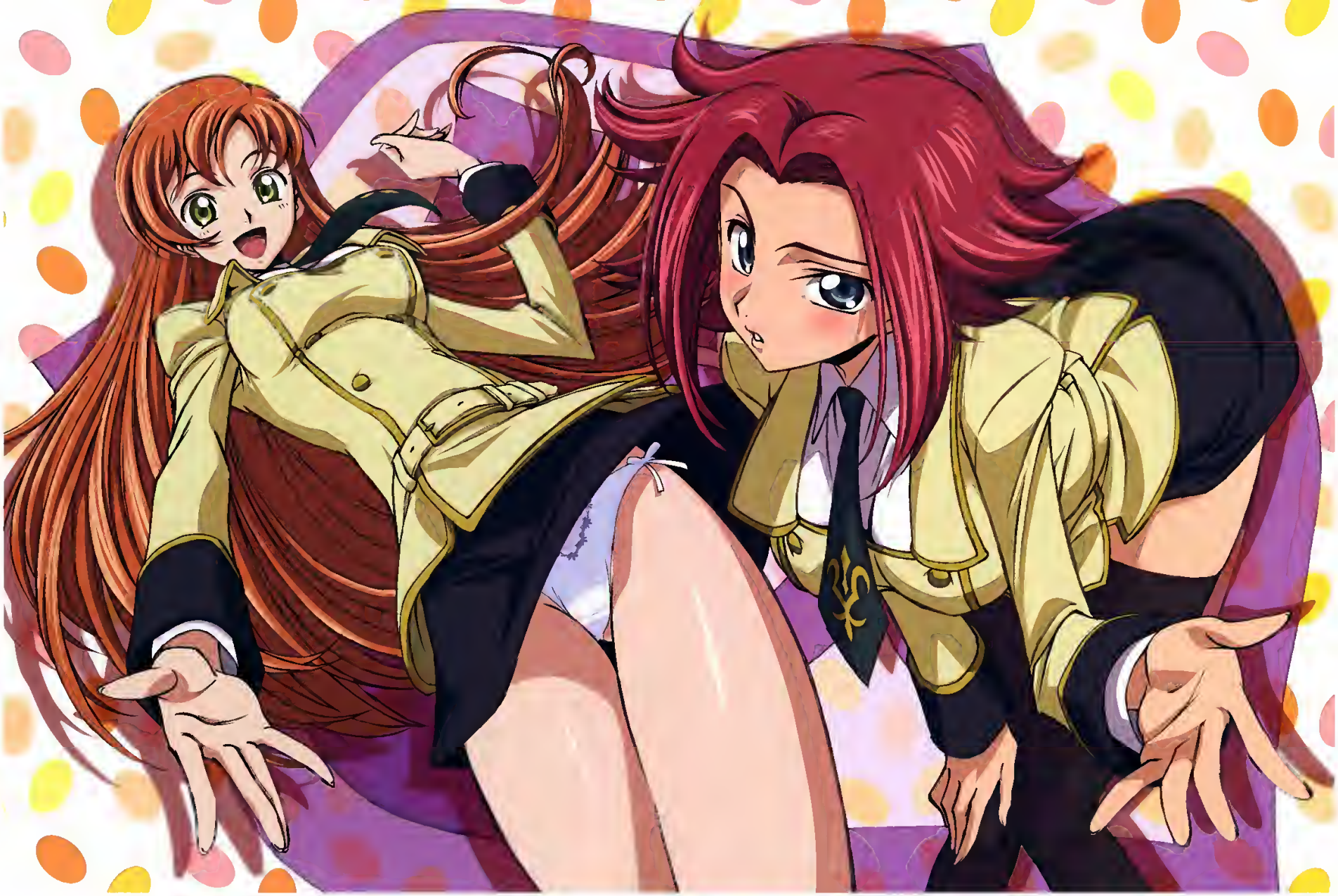
b

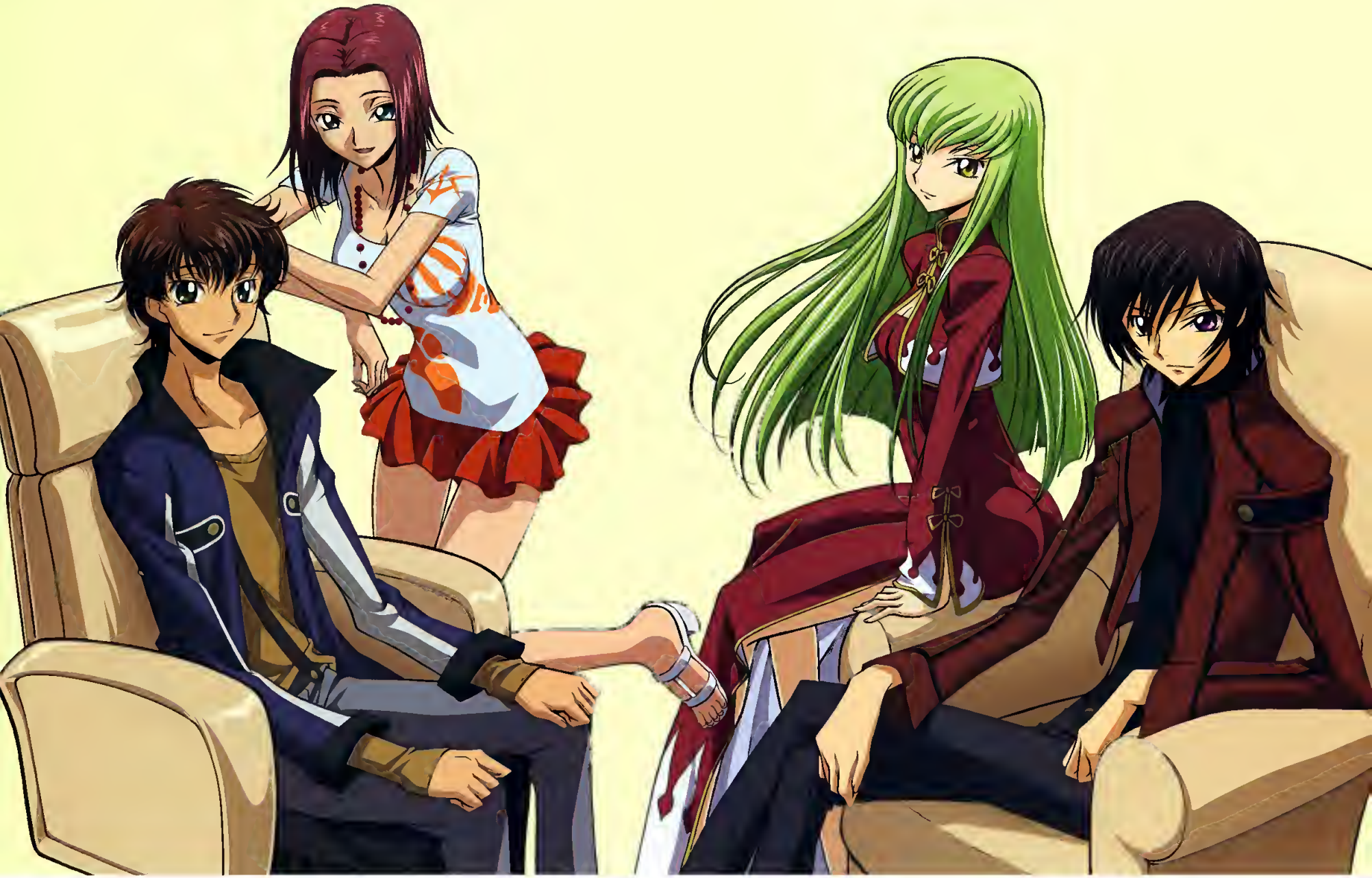
「月刊ニュータイプ」(06年9月号)掲載時はbのイラスト。C.Cは服の色、カレンとナナリーは髪・服の色が放映時と異なる。

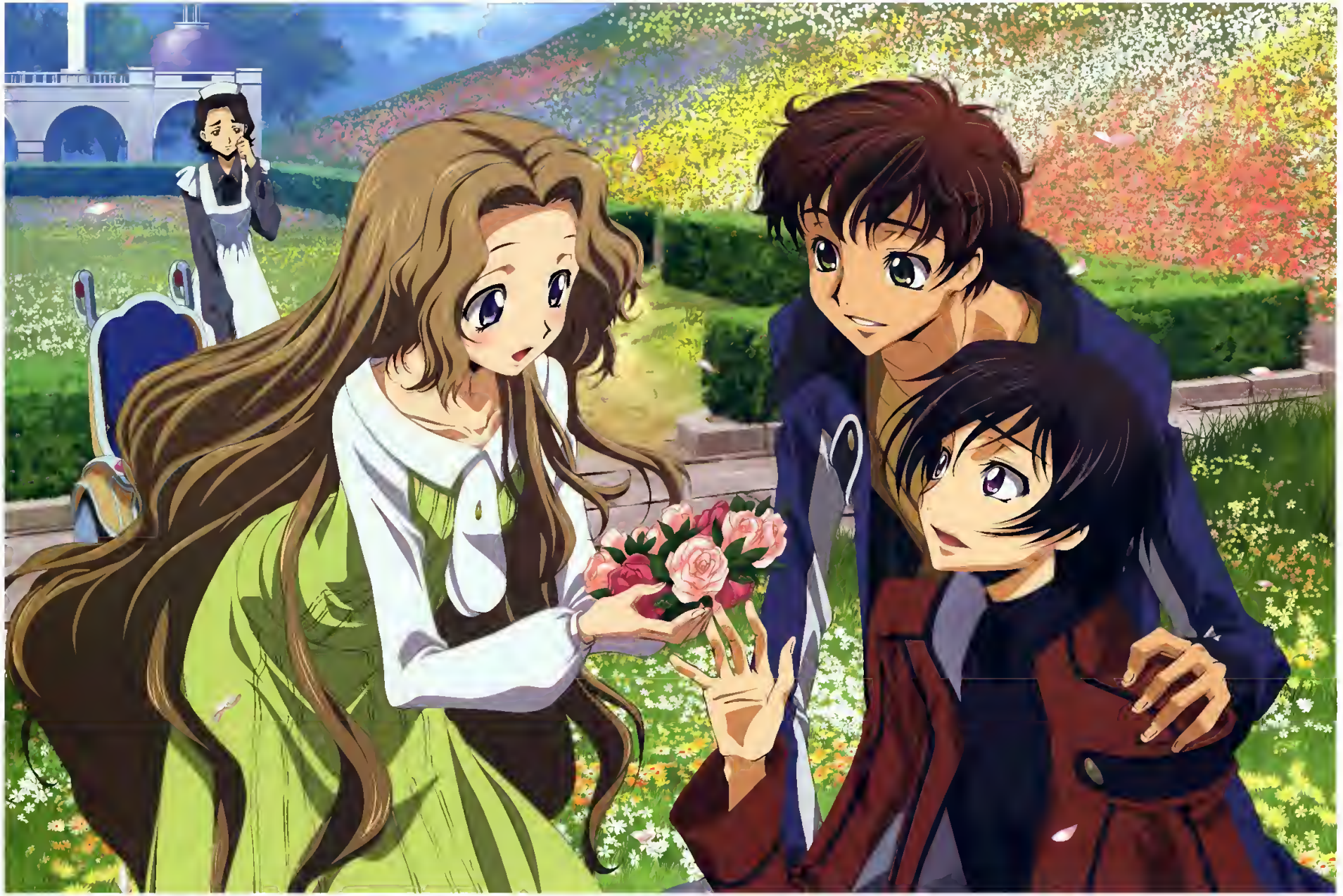
b

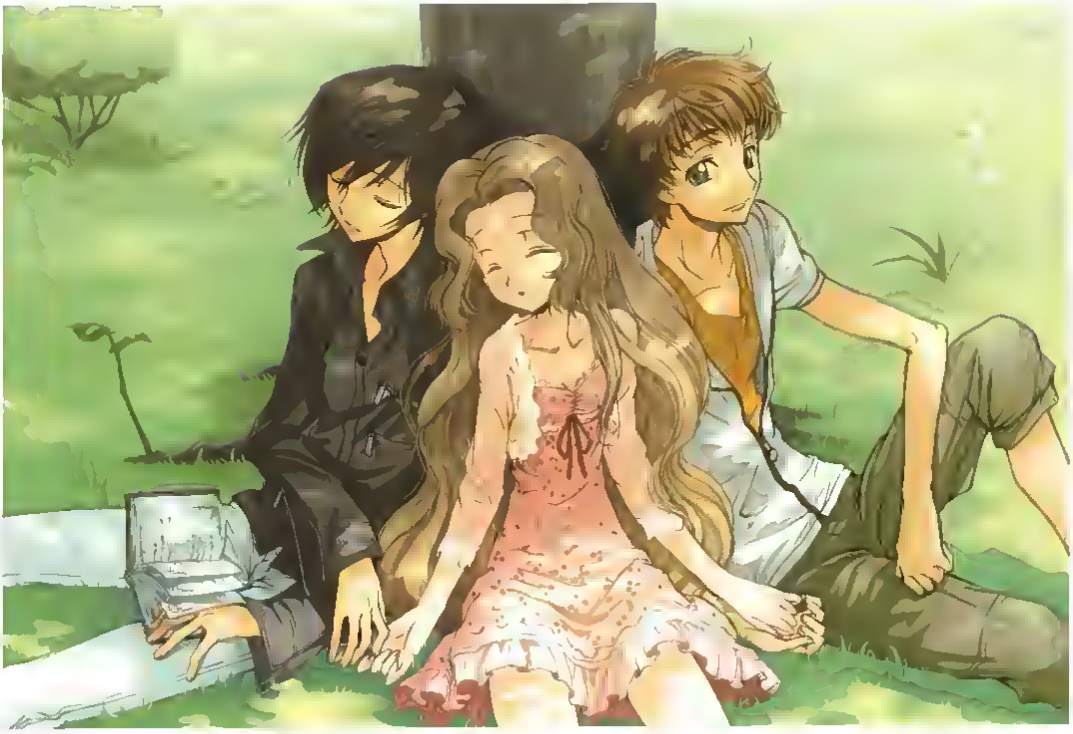
「月刊ニュータイプ」(06年9月号)掲載時は、bのイラスト、四のデザインに変更はないが、袖の切り返し部分やシャツなどの色味が大きく変更になっている。

a







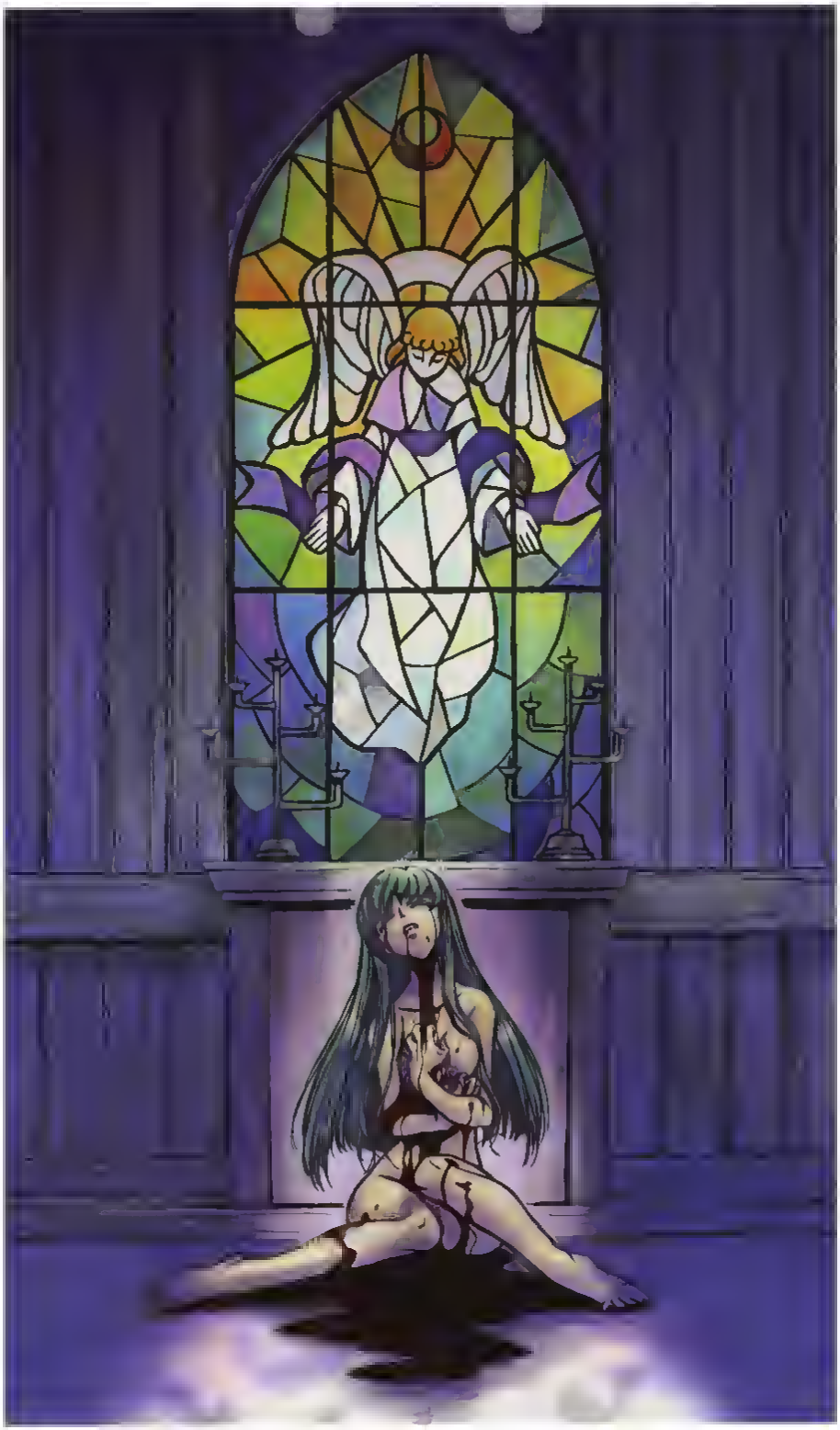


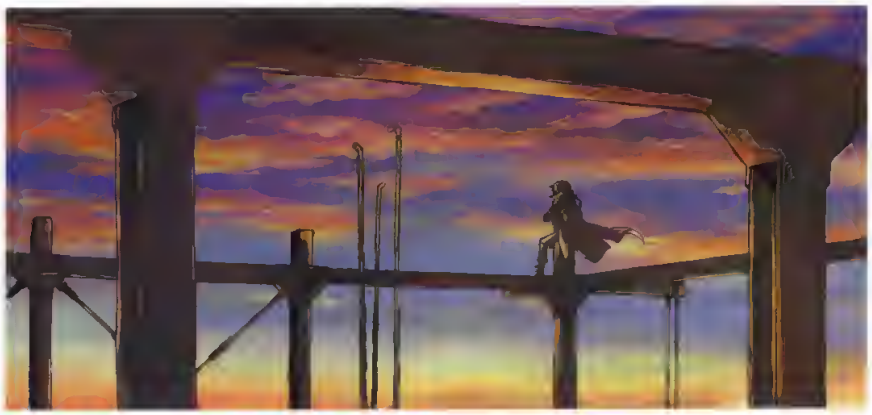
CODE GEASS
Lelouch of the Rebellion
illustrations
Rebels

Ending Illustrations

TAKAHIRO.K×RICCA

On August 1st, 2010 [illegible] the Holy Empire of Britannia declared war on Japan. Powerless and hopeless, Japan was defeated in less than a month. Freedom and [illegible] Rights and pride were lost, and even their name was [illegible]. The Japanese were given a [illegible] name, Elevens.

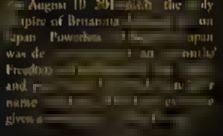




Ending Illustration

CODE GEASS
Lelouch of the Rebellion
illustrations
Rebels

Album of the Rebellion



第1話の思い出といえば(それは　現在もですが)、キャラ作画監督 千羽由利子さんの圧倒的な作画力！ いろいろ試行錯誤しながら描いた設定がいきなり生きたキャラとして目に飛び込んできたのです。この作品は幸せた 絶対おもしろくなる！ そう確信したのでした。　(木村貴宏)

STAGE 7

ルルーシュVSコーネリア"の7話ですね。コーネリアさまの発言は いちいち「こもっと♡」という感じで 非常にカワイイです！ （千羽由利子）

STAGE 8

相変わらず見どころの多い話数ですが 何より個人的にノボったのは 神にインパクトのあった雷光のパイロット。そして ゼロのうしろでノノノ」の玉城。です。うーむ カわいい奴。（木村貴宏）

STAGE 11

11話といえばランスロットと紅蓮の初対決ということで谷口監督からプレッシャーをかけられ、自分なりに頑張った画像でしたが河口プロデューサーからは「やり過ぎ」と言われました(笑)。これからも言われるよう頑張ります！(中西米治)

STAGE 14

STAGE14はことのほかスケジュールが厳しく 実は可口プロデューサーや 也辺デスクに大阪まで何度か回収に来てもらっちゃいました！ しかもピザハットまでとってもらい おいしくいただいたりして　その節はどうもありがとうございました。　（半谷誠一）

STAGE 18

スザクとユーフェミア お似合いの2人です。実はユフィの騎士にはシュレミアん。なってほしかったですね。「ゼロなんかやっつけちゃえー!」(朝さん)「ひ帰たぁ!」(威圧さん)なんて。ゴルトフンネタですみません。（中谷誠一）

STAGE 19

うも ルルーシュ君としては ここは当然こんな反応だったでしょっ。ってゆーか ユフィ 君いろいろぶっちゃけすぎ(汗)。
(木村貴宏)

STAGE 20

新シリーズは メカ戦が前シリーズに比べて よりハードになっている。メカ作画の増量とともに、運動する時間もなく自分の体重も増量しそった。（中間栄治）

STAGE 23 ゼロってほんっとつ…鈍いな。うしろ姿も、性格も。（千羽由利子）

STAGE 24&25

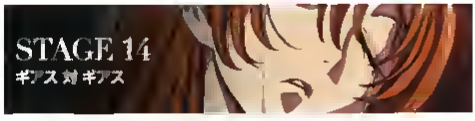
25話は、登場するキャラ全員のテンションが高く 私もかなり(キャラたちに)精神力を吸い取られました。 (千羽由利子)

物語の始まりは絶望――。ブリタニア帝国の属領となりエリア11と呼ばれる日本。母を暗殺され、廃嘉された皇子ルルーシュは愚友のリヴァルとチェスをして退屈を紛らわせていた。その帰路、テロに巻き込まれたルルーシュは 戦場で旧友のスザクと再会する。スザクが撃たれ、絶望したルルーシュは謎の少女C.C.と契約を結ぶ。

誰にでも一度命令を下すことができる 絶対遵守の力「ギアス」――。謎の少女C.C.から力を得たルルーシュは 仮面をかぶり「ゼロ」と名乗る。そしてブリタニアに、たったひとりで反抗活動を開始するのだった。エリア11新総督のコーネリアは「ゼロ」をおびきよせる罠をしかける。ルルーシュは罠と知りつつ、戦場へ向かう。

正義の味方「罠の騎士団」旗揚げ――アッシュフォード学園の生徒会のメンバーはいつも仲良し。生徒会長のミレイ、庶民優良少女シャーリー 研究が趣味のニーナ。彼女たちはカワグチ湖へ遊びに行く。ところが、そこはテロリストの標的となっていた。ゼロは人質の彼女たちを助け、「罠の騎士団」の存在を世界に知らしめるのだった。

罠の騎士団とブリタニア罠の決戦が罠を開ける――。ゼロはナリタ連山で 日本解放戦線の鎮圧をしようとするブリタニア罠を罠にはめる。追い詰められたコーネリアを救いにきたのは ルルーシュの旧友のスザク。スザクの罠るナイトメア「ランスロット」と、罠の騎士団の日本製ナイトメア「紅蓮弐式」の一騎打ちがはじまった!



好きな相手が罪人だったら――。生徒会の美少女シャーリーはルルーシュに憧いを罠せていた。しかし ルルーシュ自身がゼロであることを知ってしまう。罠女はもうひとりのギアス能力者マオに利用され ルルーシュを追い詰める。絶体絶命のルルーシュは、シャーリーにギアスをかける。それは別れよりも哀しい決断だった。

EPISODE GUIDE

騎士罠生――第3皇女のユーフェミアが騎士に選んだ相手は、日本人のスザクだった。ブリタニアでは過去に例をみない大抜罠。しかし 日本とブリタニアの融和を考えるユーフェミアにとっては自然なことだった。一方 罠の騎士団にとってスザクは大きな問罠となっていた。ルルーシュは、ゼロとしてスザクを説得しようとする。

ルルーシュは すべてを罠せる唯一の相手とめぐりあった――幼なじみのユーフェミア。戦いの果てにたどりついた 無人島で目覚めたルルーシュはユーフェミアと2人きりになっていた。ゼロの罠面を外し すべてを罠り合う、2人。しかし それはかりそめの一罠にすぎなかった。ブリタニア罠と罠の騎士団の戦いが再開する。

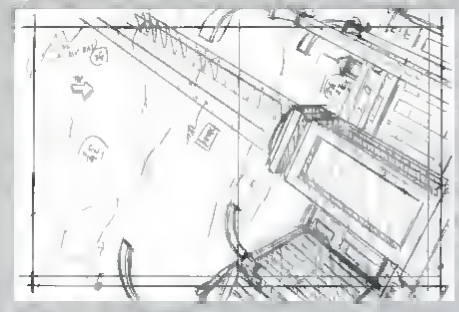
黒の騎士団のゼロ=ルルーシュとブリタニアの騎士スザクがいま力をあわせる――キュウシュウ地方で「日本」と名乗る罠蔵が独立を宣言する。しかし、それは中華連邦の傀罠にすぎなかった。スザクはランスロットで単身 キュウシュウへと突入する。窮地に陥ったスザクを助けたのはゼロ=ルルーシュ。2人はともに戦う。

悪魔と契約をしたものに女神は必罠ない――ユーフェミアの構想した行政特区「日本」の夢は、ルルーシュのギアスがおよぼした惨劇で終わった。罠終決戦直前。そこに日本の罠罠 キョウト六家の神楽耶が現れる。神楽耶はゼロに押しかけ罠罠宮! さらに日本奪還を呼びかけるのだった。しかし、ゼロは拒否する。

運命にもてあそばれる反逆の末路――黒の騎士団はブリタニア政庁にまで攻め上がる。ルルーシュは C.C.とともにコーネリアと罠罠を決する。親庁陥落直前 C.C.はある真実を伝える。ルルーシュの最愛の妹ナナリーがさらわれたというのだ。さらったのは VVを名乗る、謎の少年。ルルーシュはすべてを投げ罠て ナナリーのもとへ走る。

「番番用メインビジュアルです。番組が始まる前のビジュアルなので、いろいろと試行錯誤しているわけですが、今後のストーリーの展開をにおわせるように　それぞれキャラクターの大きさと配置がなされています」
▷ P093

「最も初期のイラストですね。デザインも色もまたいろいろ探ってるころです。当初のルルーシュは、髪の色が白――というときもありました。この番では　線の中をマンガのような塗りでやってみたら　とグラデーションを試しています」
▷ P008

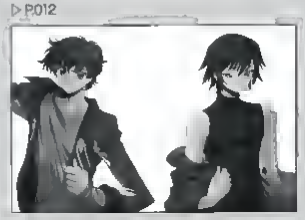


「まん男子の制服のデザインが決定していなかったんです。CLAMPさんから学生服を3パターンぐらいいただいて、その中で選択しました。シャーリーは学生生活におけるヒロイン的存在なので、かなりクローズアップされています」
▷ P009

「本番作業に入る前は、実際に画面で色がついた状態をイメージしづらいんですが　影のつけ方や、香りのバランスを、こういったイラストで揃いていく中で見つけていくんです」
▷ P014

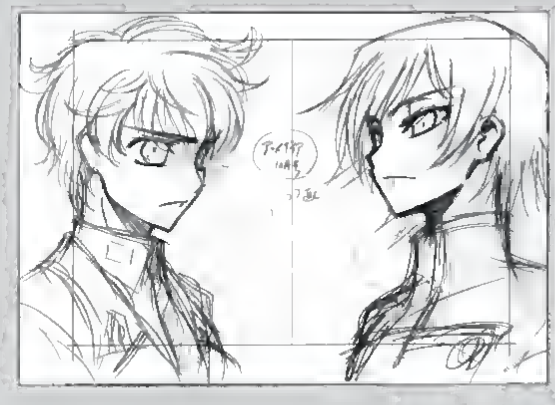
「もう第1話の作画の作業がはじまっているころの絵ですね。立ち方にもどこか色気を感じさせるルルーシュに対して　素直にまっすぐなスザクという、対象的なイメージを強く意識していました」
▷P016

「ルルーシュもスザクも細身だけれど　しっかりと筋肉がついているんです。もちろんマッチョではなくて、スレンダーな感じ。あまり、なよっとしたヤツにはしたくなかった。2人とも鍛やせするタイプですね」
▷P012



「『コードギアス』の登場人物は頭身が高めです。特に手や足は意識して長めに描いています。女の子はナイスバディなんですが、手足が長いと、グラマーに見えすぎない。全体的にシルエットがスッと見えるようにしています」
▷P011

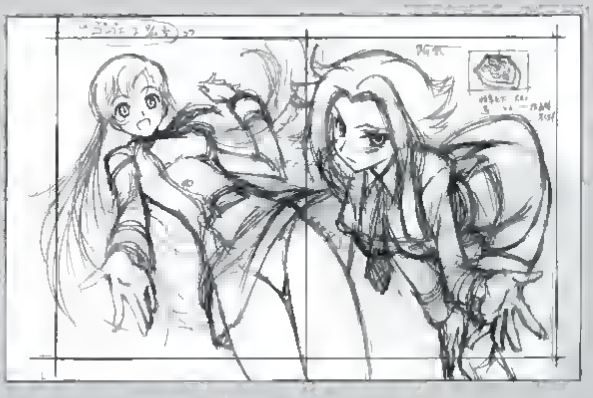
「これは放送直前のビジュアルです。ストーリーの流れを意識して描いていますね。髪に吹かれるマントのラインも含めて　流麗な線の絵をめざしました。背景や色味もキレイに仕上がってますね」
▷P004

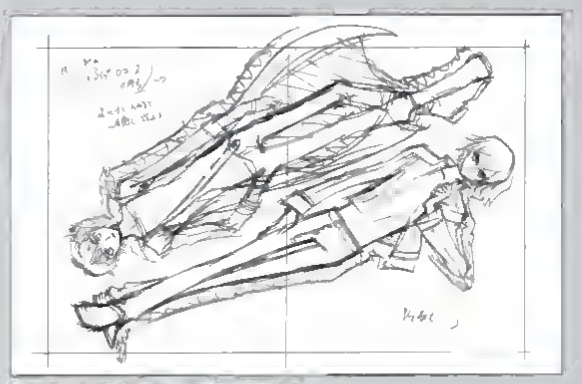


「本編第1話や第2話の作画を観て、わりと表情がさまになってきたかな？　スザクは内面が複雑な性格をもっていて、いつも表情をどうするか悩みながら描いています」
▷P016

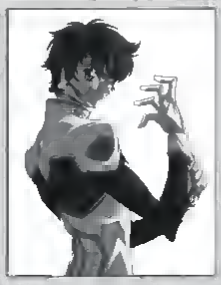
「アニメ誌『ニュータイプ ロマンス』の創刊号に描いたビジュアルです。かなり初期に描いたもので、また制服が決まっていません。女性向けを意識してということですが、正直何をどっ意識すればいいのか、いまだによくわかりません　」
▷P017

「足の脚の間に三角のすき間ができるというのは　女の子を描くときに個人的に重要なポイント。『このイラストはハッキリと狙っていいよ』と監督のOKもいただいて　のびのびと描かせてもらいました。CLAMPさんが関わったアニメでパンチラがあったのは初めてじゃないでしょうか(笑)？」
▷P018





「ルルーシュは、長い手足を持て余してるような感じがあると　らしく描ける気がします。手をどこかに当てていたり　掲げているとさまになるんです」
▷P030

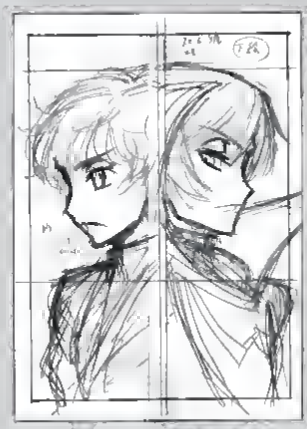


「スザクはすごくまっすぐな側面をもちつつ、内面はとても複雑なんです。しかも、中身の苦悩を表に一切出さないところがあるので…なおさらビジュアルで描くのは難しいです。あと　スザクの巻き毛は何度描いても、これまた難しいですね」
▷P026

「本編の話の中であったかもしれないワンシーンを描いています。カワグチ湖へ旅行する3人の記念写真風です。シャーリーは(特にルルーシュの)写真をよく撮ってるようなので　ここでも彼女に撮影してもらいました」
▷P120

「これも本編の匂に沿ったイメージでポートレート風に描いています。リヴァルとルルーシュの馴れ合いすぎない、そばにいて肩のこらない関係というのもよいものですね」
▷P118

「小説版の1巻の冒頭がスザク視点だったので　彼が中心になっています。基本は小説版の編集さんから届くラフをもとに　多少アレンジしながら描いています。3人組、2人組の描図は2巻以降も続いていきます」
▷P088



「編集さんからのオーダーはルルーシュとのサクのみでしたが、自分の希望でＣＣを描かせてもらいました」
▷P089

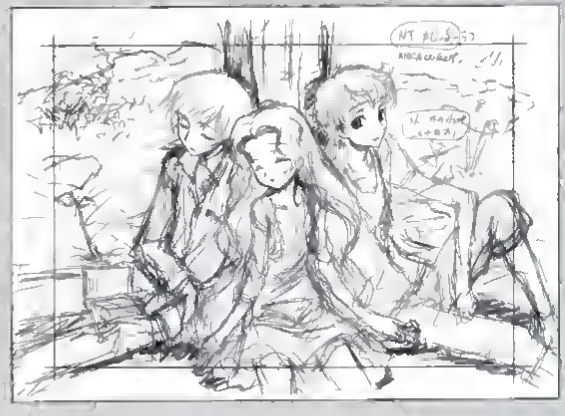
「もうひとりのギアス能力者マオをイラストとして描いたのは、これが最初（おそらく最後?）。アブノーマルな色にしてみたいという自分の希望に、色彩設計の岩沢さんがいろいろ工夫をしてくださいました」
▷P090

「自分が本編の作画作業で手いっぱいだったころに、スザクの騎士服のデザインを、千羽さんにお願いしたんです。そうしたら　当然ながらすばらしいデザインがあがってきて。そのデザインを活かすべく、かなり気合いを入れて描きました」
▷P091

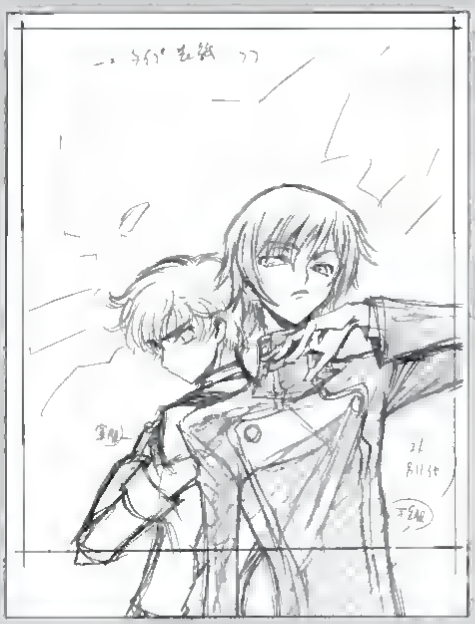
「クライマックスのルルーシュとスザク。第25話で千羽さんが描かれたルルーシュの表情に影情を受けているというか　いやもしろ、できるだけ本編のそのムートを再現したいと思いました」
▷P092

「第24～25話プレミア先行上映会のパンフレットに描いたルルーシュです。すでにずっと買ってくださっている方への物なので、ふだんアニメ雑誌などで描く機会のないイメーンにしてみました」
▷P050

「木漏れ日の下で昼寝するルルーシュとスザクとナナリー。スザクがアッシュフォード学園に通っていたころは、こんな1日があったという絵。第25章の放送後なので穏やかな、ホッとするイラストにしたいと思いました。やわらかいタッチの仕上げはRICCAさんによるものです」
▷P079



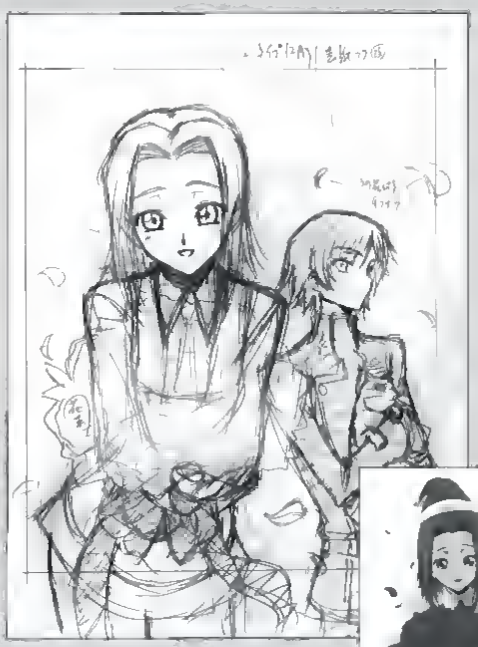
「CLAMPさんの初期の原案やイメージラフの衣装の中にも描てがたいものが多々あります。一部は本編で転用させていただいたりしてますが　今回は未使用のものを4人に着せてみました」
▷P072



「アニメ誌『ニュータイプ』の表紙ですね。まず中田さんにランスロットのラフを先行してもらい、そこに2人をのせてまとめました。ルルーシュは多くのイラストで　手にアクセントをつけてるようにしています」

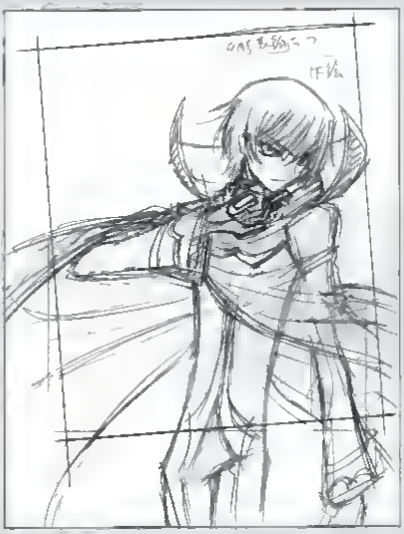
▷ P070

※中田栄治ラフ

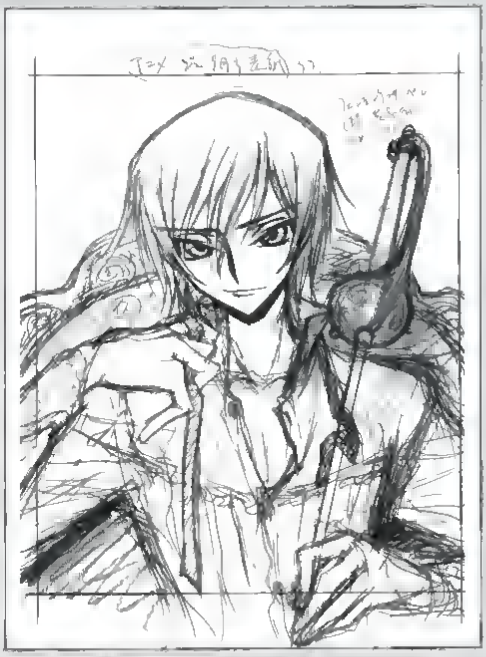


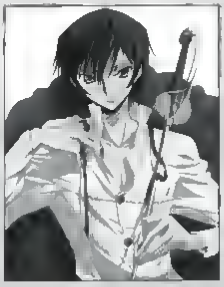
「クリスマスイラストですね。もともと　ルルーシュはサンタさんのヒゲをつけていたんですけど、やりすぎ！ということで（苦笑）完成版ではなしになりました。右から伸びている手はスザクの手です。これも　完成版ではカットに。残念！」

▷ P071



「厳しい表情で騎士の剣を抜いているスザクに対して　ルルーシュは不敵な笑みで銃を向けています。彼らのキャラクター性の違いが出せるとよいな、と考えました」
▷P074





「ルルーシュが廃嫡されずに皇子として暮らしていたら　というイメージです。フェンシングの練習で汗をかいて、ひと休みのシーンです。胸元はボタンひとつ分 ― いや、ずいぶん開いてます(笑)」
▷P081

「女性向けのアニメ誌『ニュータイプ ロマンス』の表紙ということで、やや戸惑ってる気がします。たしか、この手にもっているヒマワリが『スザクの象徴なんです！』という発注でした」
▷P080